



ミニドットプリンタ

MODEL

MP-333CF

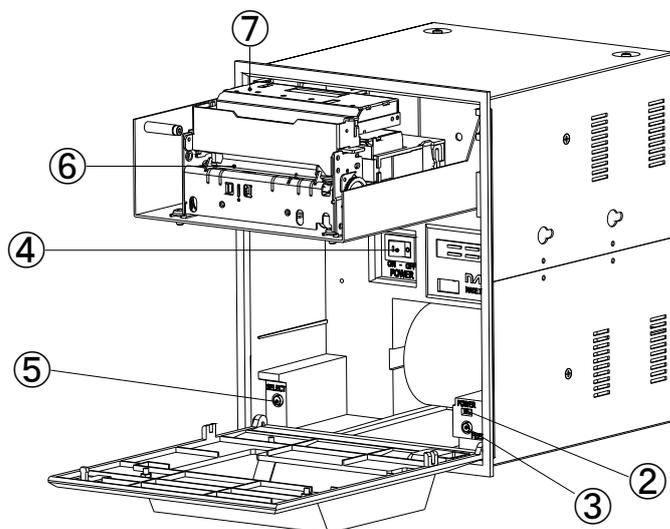
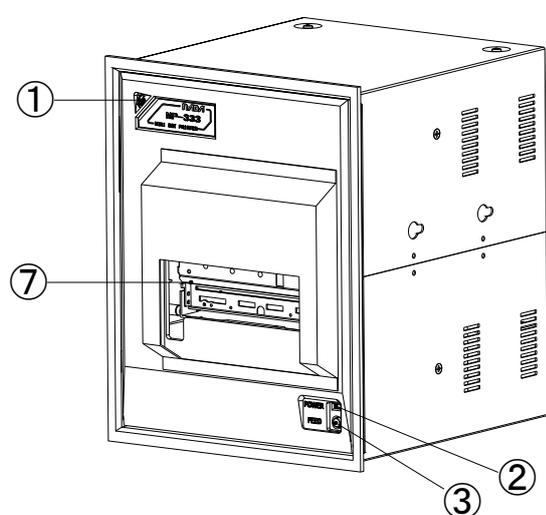
操作
説明書

このたびは、ミニドットプリンタをお買いあげいただき、
まことにありがとうございました。
正しくご使用いただくために、この操作説明書をよくお読
みのうえ、末永く、ご愛用くださるようお願い申し上げます。

ナダ電子株式会社

技2S-180719

■各部の名称と働き



① 前面パネルロック部

ここを押して前面パネルのロック、解除を行います。

② インジケータ

電源ONで緑に点灯します。

ペーパーエンド時には赤になりディセレクト状態となります。

動作中エラー時には赤と緑が交互に点滅します。ただちに電源をOFFし紙詰まり等があれば取り除き、再度電源をONしてください。

③ フィードスイッチ

このスイッチを押すと最初はゆっくり、押し続けると途中から速く紙送りします。

このスイッチを放すと用紙をカットします。

*このスイッチを押しながら電源をONするとテスト印字ができます。(参照：自己診断機能)

テストプリントの印刷が終了すると受信可能状態となります。その際のANK文字形式は5×7ドットフォントになります。

④ 電源スイッチ

電源のON/OFFを行います。

⑤ セレクトスイッチ

このスイッチを押す毎にセレクト (オンライン)、ディセレクト (オフライン) が交互に切り替わります。

セレクト……インジケータ緑 (外部からのデータ受信可能)

ディセレクト……インジケータ赤 (外部からのデータ受信禁止)

プリンタがエラー状態の時に、インジケータのエラー表示を解除します。

(注) エラーの原因を取り除くものではありません。プリンタを電源投入時と同じ状態にするだけのものです。エラーの状態によっては再度エラー表示となります。

⑥ **ペーパーエンドセンサ**

このセンサで紙切れを検出しています。

⑦ **オートカッタ**

用紙をカットします。

⑧ **ディップスイッチ設定用窓**

中の基板上のディップスイッチの設定を変更するための窓です。
設定変更時は、必ず取扱説明書を参照し、むやみに触れないようにしてください。

⑨ **インターフェースコネクタ**

ここに信号ケーブルを接続するコネクタがあります。

⑩ **銘板**

モデル名とシリアル番号が表示されています。

⑪ **アース端子**

筐体アースを接続します。

⑫ **AC電源コード (AC100V仕様)**

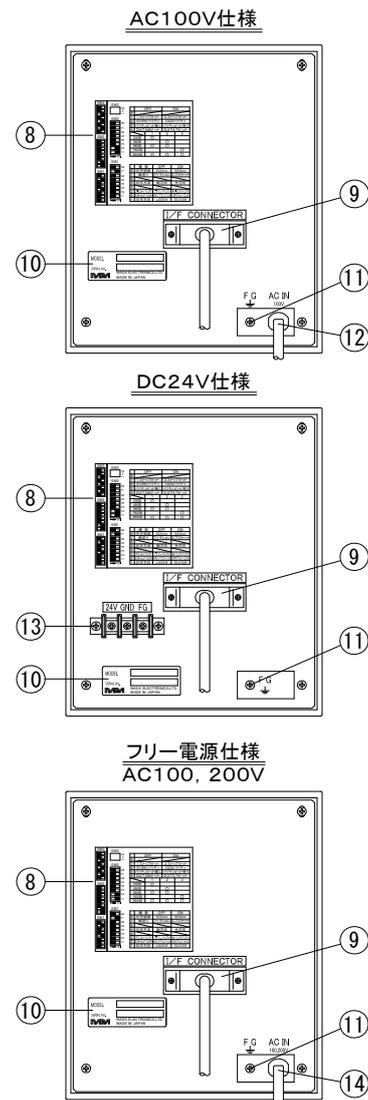
電源 (AC100V) を供給します。

⑬ **DC電源コネクタ (DC24V仕様)**

電源 (DC24V) の供給コネクタです。

⑭ **AC電源コード (フリー電源仕様)**

電源 (AC100V～240V) を供給します。
(125V以上でご使用になる場合プラグを変更してください。)



*** 自己診断機能 ***

フィードスイッチを押しながら電源ONすると下記のテストパターンを印字開始します。

モデル名

バージョン

ディップスイッチの設定SW1～SW3の内容

ANK文字サンプル印字

漢字文字サンプル印字

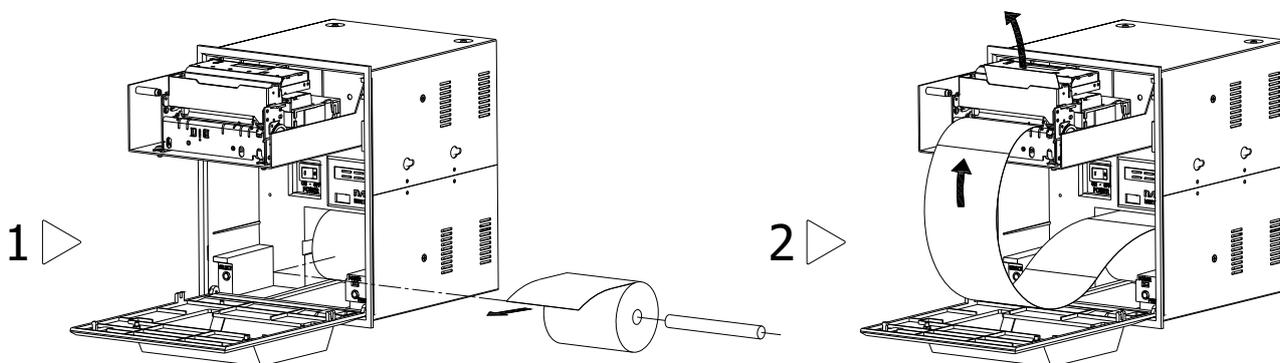
*** HEXダンプ機能 ***

セレクトスイッチを押しながら電源をONすると、<<<HEX ダンプモード>>> と1行印字した後（印字後にスイッチから手を放します）、HEXダンプモードになります。

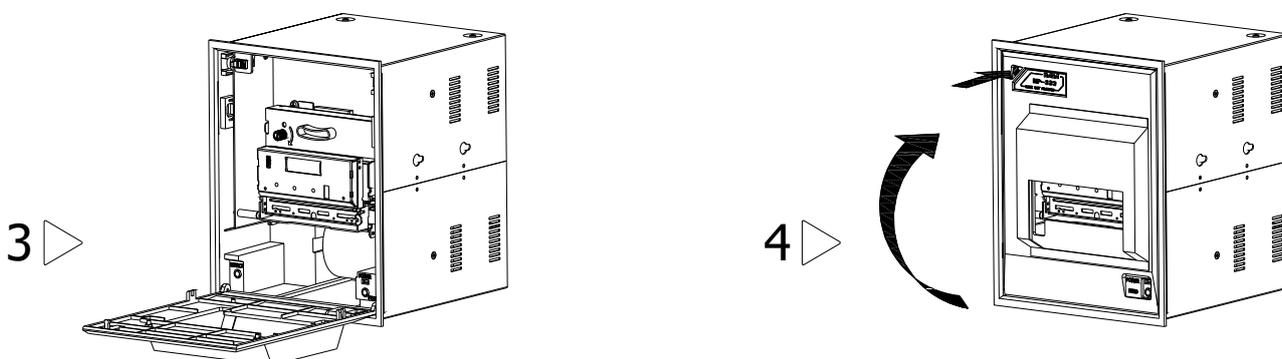
印刷可（オンライン）の状態でもストから印字データ送信すると、データを16進コードで印字します。

■ペーパーセット方法

1. 前面パネルを開け、メカユニットを手前に持ち上げます（ロックすることもできます）。次にロールシャフトを通し図のように奥にセットします。セットする際はロール紙の送り方向に注意してください。
2. セットした紙をプリンタメカのペーパー挿入口から差し込みフィードスイッチを押して送り込みます。差し込んだ時に自動的に一定量の紙送りをする場合はDIPSW3-3をONに設定しておきます。
（※用紙の先端をカット位置に合わせる機能ではありません。また、DIPSW設定作業時は必ずプリンタの電源をOFFにして行ってください）
その後、紙が完全に出るのを確認するまでフィードスイッチを押してください。
フィードスイッチを放すと用紙をカットします。



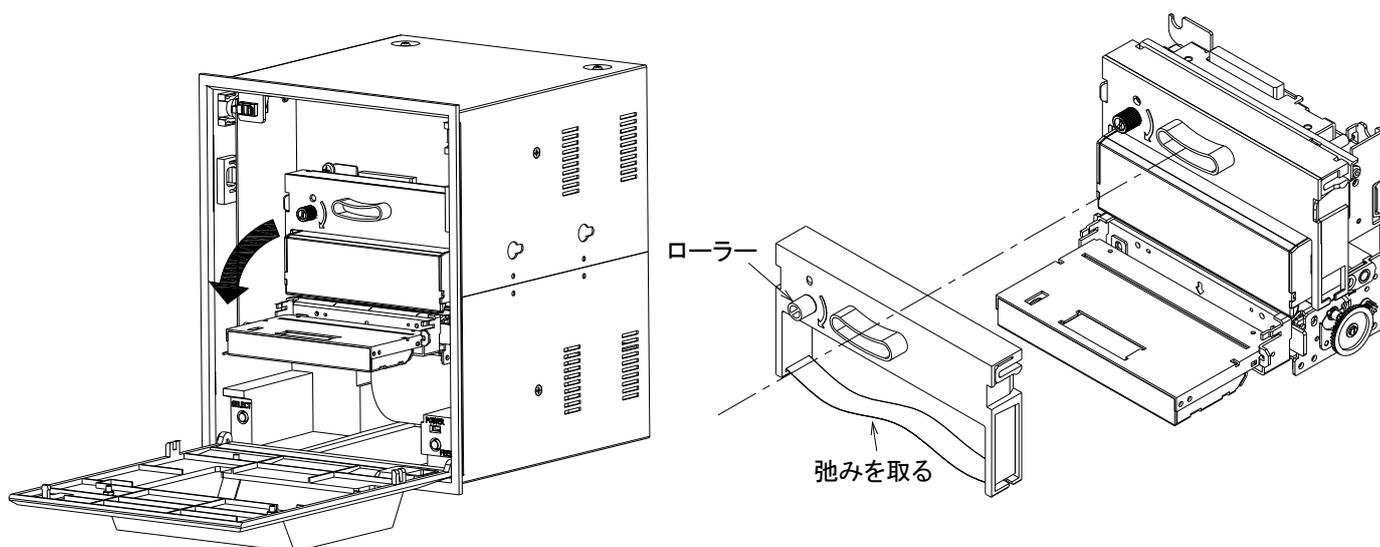
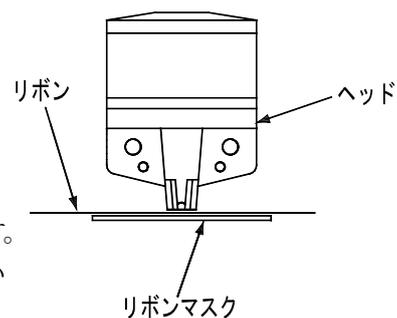
3. メカユニットをゆっくり下げロックするところまで押し込みます。フィードスイッチを押し紙のたるみを取り除きます。セレクトスイッチを2回押し、インジケータが緑になるのを確認します。
4. 前面パネルを持ち上げ、パネルロックを押して閉めます。



（注）印刷可（オンライン）状態にした時に受信バッファに残っているデータを印字します。
但し、エラーでランプが点滅している時にセレクト（SELECT）スイッチを押して点滅を解除するか電源を入れ直した場合には、受信バッファに残っていたデータはクリアされて印字しません。

■リボンカセット交換方法

1. 前パネルを開け、オートカッタを手前倒します。
2. リボンカセットの取っ手をもち、手前に外します。
取付け時、うまく入らない場合はローラーを少し回すと取り付けられます。
リボンに弛みがある時は、ローラーを矢印の方向に回して弛みを取り除いてください。
リボンがリボンマスクとヘッドの間に挟み込まれていることを確認してください。(右図参照)



3. オートカッタを元に戻します。
戻した時に紙がカタガイドに入るのを確認してください。
カタガイドに紙が入りにくい場合は、カタガイドから紙が外れるまでバックフィードしてからもう一度紙をフィードしてオートカッタより紙が出るまで送ってください。
バックフィードはフィードスイッチを押し続けながらセレクトスイッチを押した時点から紙を逆に送ります。
4. 前パネルを閉じます。

■スイッチ操作機能

1. テストプリント機能

① 操作方法

FEEDスイッチを押した状態のままで電源をONする事でテストプリントを開始します。SELECTスイッチを押すと、テストプリントは一時停止します。再度SELECTスイッチを押すと、テストプリントの続きを印字します。電源をOFFするとテストプリントを中止します。テストプリントの印刷が終了すると受信可能状態となります。

② 機能内容

プリンタ内部のメカユニットの動作確認 及び 内部ロジックの動作をチェックします。又、ディップスイッチの設定内容を印字するので機能設定の確認も行えます。

2. HEXダンプ機能

① 操作方法

SELECTスイッチを押した状態のままで電源をONすると、<<< HEX ダンプモード >>> と1行印字した後（印字後にスイッチから手を放します）、HEXダンプモードになります。

② 機能内容

受信したデータをそのままHEX（16進）コードで印字します。

受信データの確認が行えます。

バッファフル未満のデータは最後のデータが入力されてから1秒後に自動的に印字されます。

（注）各コマンドの〔機能〕は働きません。

■エラー時の復帰の仕方

1. ペーパーエンド（用紙切れ）時

① インジケータが赤色に点灯します。

② 用紙をセットして印刷可（オンライン）の状態にします。

（用紙のセットの仕方は □ペーパーセット方法 の頁を参照）

③ 受信バッファにデータが残っている場合は残りのデータを印字します（プリンタの電源を入れ直した場合、データはクリアされるので印字しません）。

2. その他メカニズムが原因のエラー時

① インジケータが赤色に点滅します。

（エラーの内容については、□パネルスイッチランプの表示（エラー表示）一覧 の頁を参照）

用紙が折れて詰まっている場合は取り除いてください。

② プリンタの電源スイッチをOFF→ONします。又はセレクトスイッチを押してプリンタを電源投入直後の状態にします。

①で用紙を取り除いた場合は用紙をセットしてください。

（用紙のセットの仕方は □ペーパーセット方法 の頁を参照）

③ プリンタの受信バッファに残っていたデータは印字できません。

（注）②でセレクトスイッチを押す場合は、スイッチからすぐに手を放してください。

長く押し続けているとHEXダンプモードになる事があります（参照：HEXダンプ機能）。

■パネルインジケータの表示（エラー表示）一覧

インジケータの状態	内容	対処方法
緑点灯	オンライン状態（セレクト）	印刷できます。
赤点灯	ペーパーエンド（用紙切れ） オフライン状態（ディセレクト）	用紙をセットしてください。 FEEDスイッチを押した後、SELECTスイッチを押してください。
消灯	ペーパーエンド（用紙切れ）後に用紙を セットしたあとの SELECT スイッチ1回目 押下。	もう一度 SELECT スイッチを押して セレクト状態にしてください。 受信バッファに残っているデータを印字 します。 但し電源を入れ直した場合は受信バッファ に残っていたデータはクリアされます。
緑赤交互点滅	メカ・エラー	メカの故障、紙詰まり、ゴミが溜まる 等が原因で印字ヘッドが正常に動作で きない状態にあります。 電源を OFF にして原因を取り除いてく ださい。
	マークセンサ検出エラー	マークセンサが用紙のマーク位置を検出 できない状態にあります。 マークの大きさが仕様に合っているか確認 してください。 マークセンサの調整を行ってください。 ※ マークセンサ仕様時のみ該当します。
赤点滅	サーミスタ・エラー	印字ヘッドが高温状態にあって印字 できない状態にあります。 電源を OFF にして、温度を下げてくだ さい。
緑点滅	カッター・エラー	カッターが装着されていないか、カッ ターの故障が原因で、カッターが動作 できない状態にあります。 電源を OFF にして原因を取り除いて ください。

- (注1) エラーでランプが点滅している時に SELECTスイッチを押して点滅を解除するか、電源を入れ直した場合には受信バッファに残っていたデータは印字されません。
- (注2) エラーでランプが点滅している時に SELECTスイッチを押して点滅を解除する場合は、スイッチからすぐに手を放してください。長く押しているとHEXダンプモードになる事があります。（□スイッチ操作機能を参照）

○リボンカセット

I R-31B (黒色)



○記録紙

普通ロール紙 (NR-760)



○記録紙

普通ロール紙

NR-760 (76mm幅×60φ×35m長さ)

普通折畳み紙

NF-760 (76mm幅×5¹/₄×35m長さ)

○リボンカセット

I R-31B

リボン寿命………190万文字

※製品改良に伴い外観、仕様その他について変更することがありますのでご了承ください。

機器設定にあたっては最新の仕様をお問い合わせ下さい。



ナダ電子株式会社

本 社	神戸市東灘区本山南町1丁目4番43号 TEL(078)413-1111 FAX(078)412-2222	〒658-0015
東 京(営)	東京都港区芝4丁目5-11 芝プラザビル TEL(03)3455-4230 FAX(03)3455-4249	〒108-0014
名古屋(営)	名古屋市名東区上社1-1304 北村第三ビル TEL(052)776-1921 FAX(052)775-6080	〒465-0025
福 岡(営)	福岡市博多区博多駅南1丁目7-16 オーリン7号ビル TEL(092)471-8305 FAX(092)471-8355	〒812-0016